



優秀選手に選ばれた畠山尚君(左から2人目)。左は山崎聖子コーチ、右は父の薫さん。畠山君の右隣の知(とも)君(4年生)もテニスをしている

「目標は錦織」12歳畠山君

盛岡市立松園小学校6年の畠山尚君(12)はNPO法人まつそのスポーツクラブは、18、19日に北九州市で行われた日本プロテニス協会のジュニア発掘キャラバンで優秀選手に選ばれた。初エントリーで高い運動能力とストロークなどの確かな技術が認められた。父親で教員の薫さん(47)と同クラブの指導を受け、夢は「錦織圭選手のようなプロになりたい」と語る。

ジュニア発掘キャラバンで 全国8人の優秀選手に

同協会はニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバンを毎年開催。地区大会を経て全国へ進み、最優秀4人(今回は2人)、優秀約10人(同8人)を選考。最優秀選手は1年間、育成サポートプログラム、テニスメーカーからのサポートタイアップが受けられる。海外遠征のチャンスもある。

全国の強豪が集まり、ほとんどが低学年から毎年参加し、推薦を受けている中、初出場へ入賞。スパーキッズには選ばれる運動能力の高さもある。

畠山君は「テスト以外にも練習会があつてプロのコーチから状況に応じたプレーを教えてもらった」という。大きな大会にもそれほど物おしせず「いいパフォーマンスができたい」と感想を話した。今年度は東北ジュニアダブルスで優勝、東北小学生シングルの大会で3位など小学生最後に戦績を残した。

特に昨年7月に東京で行われた全国小学生テニス選手権大会では1回戦から第2シードの選手と対戦。敗れたがファイナルセットまで持ち込んだ。これが縁でテニスメーカーの国内合宿に誘われ、12月には米国フロリダの合宿に全国の強豪と一緒に参加した。

薫さんは、畠山君が小さいころから遊びを通じてテニスに触れる機会をつくってきた。「地区大会で体力、実技とも高得点をマークした。中央のジャッジから全国でも上位だと評価された。スパーキッズの経験と素質とがリンクすれば、もっと化けると思っし、そ

うなつてほしい」と期待する。まつスポーツクラブの山崎聖子さん(34)は旧姓・中川は、自らもインターハイや国体など全国を舞台に戦ってきた。「全国での経験、東北で優勝した経験がよかった。練習態度はそれまでと全く違つし、アメリカへ行つてから練習に対する目の輝きが違つている。運動能力をもう少し上げて挑戦してほしい」とエール。同じクラブのメンバーへの刺激になることを願っている。畠山君の小学生最後の大会は3月にある。勝ち続ければ英国ウィンブルドン・ジュニア選手権にもつながるといふ。プロ選手を目指す畠山君に周囲の期待、注目が集まる。